

一、党大会後の到達、次期党大会めざす党勢拡大の新たな目標

- ・「これだけは必ずやり切る」目標として、第29回党大会現勢を回復・突破する

二、すべての支部・グループへの「手紙」の提案

三、「手紙」と「返事」を生かすために、党機関は「3つのスローガン」で

- ・「双方向・循環型で支部を援助する党機関になろう」
- ・「政治的・思想的に強い党機関になろう」
- ・「若い世代、女性役員が生き生き活動し成長する党機関になろう」

四、世代的継承の党づくりを成功させるために、党機関のイニシアチブを

- ・「ミーティング」「集い」とともに、若い世代に出会いに行き、要求を聞く取り組みを
- ・党大会までに2000人の青年・学生党員を増やし、現勢の倍加を
- ・労働者の中での党づくり——職場支部援助の基本姿勢、3つの取り組みを

五、「しんぶん赤旗」の危機打開へ、3つの教訓を生かして

- ・「要求対話・アンケート・ストリート対話」の取り組みと一体に、見本紙を活用して
- ・日曜版電子版の発行が若い世代と党をつなぐ新たな架け橋に
- ・配達・集金活動について

六、中央として中間機関の活動の改革と体制の強化にとりくむ

- ・当面、今後の地区委員会の中心を担う幹部をつくるための連続講座を行う

七、新たな「手紙」と「返事」の取り組みで、前進への歴史的転換を必ずやりとげよう